都内自治体、年末年始の発熱患者に備え 臨時検査や診療

#東京 #新型コロナ #健康・医療

2022/12/27 19:47 [有料会員限定]

東京都が臨時で開設した新型コロナウイルス無料検査会場（27日、東京都渋谷区の「バスタ新宿」）

年末年始の人の往来に伴う発熱患者の増加や医療機関の休診に備え、東京都内の自治体が臨時の検査会場や診療所などを相次ぎ設けている。新型コロナウイルスの無料検査やオンライン診療を提供し、円滑な療養をサポートする。希望者が検査をすぐ受けられる環境を整備し、コロナや季節性インフルエンザの感染拡大防止につなげる。

東京都はJR東京駅など主要駅とバスタ新宿の計8カ所に無料で抗原検査を受けられる臨時検査会場を開設した。都民だけでなく、帰省や旅行のために訪れる都外在住の人も対象とした。無症状であることと、予約メールやきっぷなど旅行日の分かる書類の提示が利用条件。2023年1月12日まで実施する。

都が開設した「臨時オンライン発熱診療センター」は12月29日から23年1月3日まで、診療時間を24時間体制とする。コロナやインフルの感染疑いのある都内在住の13～64歳が対象で、受診時にコロナ検査キットによる自己検査の結果の提示を求める。検査結果は陽性・陰性を問わない。

新型コロナの自己検査の結果を提示すれば「東京都臨時オンライン発熱診療センター」を受診できる（イメージ）

都内自治体が独自に年末年始の医療提供体制を強化する動きも出ている。

世田谷区は15歳以下の区民を対象にした「小児専用同時検査・診療所」を設置した。年末年始も稼働する。医師や看護師がインフルとコロナの同時検査を実施し、薬の処方にも対応する。感染拡大の第8波とインフルの同時流行を見据えて体制を拡充した。「インフルは子どもの患者が多く、小児科が逼迫する恐れがあるため」（保健医療福祉推進課）という。

墨田区は区内在住の濃厚接触者や発熱などの症状のある人に対して抗原検査キットを無償配布している。都も郵送配布事業をしているが、墨田区では区内約40カ所の薬局ですぐに受け取れることが特徴だ。電話などによる事前申し込みが必要。12月30日～23年1月3日の間も一部の薬局で実施する。

大田区は発熱患者らを対象に独自に開設した「オンライン・電話診療」を、八王子市はコロナに関する「総合コールセンター」を年末年始も稼働させる。行政と地元医師会などが協力して機能を分散させることで、保健医療の逼迫を防ぎながら確実な医療サービスの提供を図る。